

◎ネオシネジンコーワ点眼液 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 フェニレフリン塩酸塩 (U) phenylephrine hydrochloride 【分類】 散瞳剤 [選択的 α 1受容体刺激作用薬]

【単位】 ◎10mL/本 [5%]

【用法】 1回1～2滴点眼

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 エピネフリンとエフェドリンに類似した合成交感神経刺激剤であり、診断または治療を目的とする散瞳に適用。

【主な副作用・毒性】 眼瞼の発赤・腫脹・そう痒感、接触皮膚炎、結膜炎、充血、眼圧上昇、血圧上昇など。高齢者では循環器系の副作用に注意 (U)

【代謝】 脱アミノされ、グリコール体、カルボン酸体となり代謝 (1)

【t_{1/2}】 2～3hr (11)

【蛋白結合率】 不明 (11)

【Vd】 200～500L/man (11)

【MW】 203.67

【O/W 係数】 資料なし (1)

【備考】 散瞳は10分後から始まり最大40～60分。白内障手術時に0.6%フェニレフリン液の前眼房内投与により、 α 1遮断薬に関連したIFISの発症を抑制できる可能性がある (安間哲史,他: 眼科臨床紀要 2:915-9, 2009)

【更新日】 20141222

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。